

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月23日公開

事業所名:放課後等デイサービス野の花

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	限られたスペースの中で、環境整備を行っている。	・雨の日等、室内で走り回れるスペースがあれば良いと思う。 ・具合の悪い児童が静かに横になれるスペースが欲しい。
	2	職員の配置数は適切である	5	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	比較的バリアフリーである為支援等に適している。	・台所があると助かる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	・月に1回支援会議を実施し、会議録を回収し支援者間で確認している。 ・日頃から支援の振り返りを行い、課題等について話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	法人ホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・zoom研修等を活用し可能な限り参加している。 ・研修後は復命書を作成し、情報共有している。	・今後も継続した研修機会を設けていき、質の向上に努めていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	各児童の特性や課題等に適した長期目標や短期目標を設定している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	契約時にアセスメントをとり、支援に繋げている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	児童発達支援管理責任者を中心に立案、検討している。	定期的の実施出来るように、支援会議等にを活用していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	個別プログラム、集団プログラムを設定している。	固定化しないように工夫するが、コロナ禍等の影響で固定化する場合もあるが、アイデアを出し合いながらプログラムを立てていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	集団活動含め、対象児の特性や状態に合わせた設定を行っている。	・固定化しないように工夫するが、コロナ禍等の影響で固定化する場合もある。 ・人員が足りず、事故が起こらないように対応する事で手一杯であり、きめ細やかな対応までは不可。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・注意が必要な児童や、対人面等を確認や対応方法を共有し、支援に繋げている。 ・前日の確認事項を当日にも確認する等、情報共有を密に行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・児童の様子について、支援者間で情報共有を行い、振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日々の活動や支援の様子をケース記録として作成している。	気になった点は、支援会議や打ち合わせ等で職員への周知を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	月1回の支援会議や半年1回のモニタリングにて情報共有している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	ガイドラインを配布、活動に取り入れて支援を実施している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者、現場支援員にて参加している。	・コロナ禍を理由に書面でのやり取りが大半であったが、今後は対面での担当者会議が行えていければと思う。書面だけでは、情報共有がしにくいと感じる。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	・学校送迎時等に先生と情報共有を必ず行っている。 ・学校ホームページを確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		現在、対象児はいない。今後、対象利用があれば、必要に応じて支援・連絡体制を整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	・支援の引継ぎに入り、受入前からの準備を行っている。 ・常に情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3		法人外の事業所へ移行した児童の情報共有が出来ていない。また問合せ等もない為、今後は、必要に応じて情報提供を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・研修には積極的に参加している。 ・法人内の児発と連携し、支援方法等を共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		地域イベント等を確認しながら、コロナ等の状況を見て参加出来るように検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		参加出来るように検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳等にて情報共有しており、必要に応じて電話面談等を実施している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	利用契約時に実施している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	連絡帳等にて情報共有しており、必要に応じて電話面談等を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		現段階での希望者はない。要望等があれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・定期的な会報や日々の連絡帳にて実施している。 ・法人HPに掲載している。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	特性に応じて、写真や絵カード等のツールを活用し支援を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	・地域の高齢者施設に招待され、餅つきに参加した。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	支援者には配布し、ルーム内に掲示している。 対応方法等変更があった場合は、配布・周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	年に2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	支援会議や法人研修にて実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		マニュアルを作成し、ルーム内にて掲示している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	現在対象児はいないが、契約時にアセスメントを取り、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	書面にて記録、全支援員で共有・周知している。	